

補正予算

原案可決（賛成全員）

【一般会計】

421万5000円減額し、総額114億627万7000円となりました。
主なものは次のとおりです。

●歳入の主なもの

町税全体で1420万円、地方交付税は8276万6000円の増となりました。
反面、国・県からの補助金は、事業費の確定により3093万9000円の減となりました。
また、ふるさと寄附として104万円の寄附を受けました。

●歳出の主なもの（万円未満切り捨て）

年度末のため、主に事業費の確定、入札による差金、各種経費の節約などによる減額補正が計上されました。増額補正になったものは、次のとおりです。

- ・ふるさと創生基金 …… 1億4358万円
「ふるさと振興基金」の廃止に伴い、
「ふるさと創生基金」へ積み立て



ふるさとまつり

- ・坂東大堰基幹水利施設
保全対策事業負担金 …… 1378万円
国の補正予算に伴い追加

- ・住宅リフォーム支援事業
補助金 …… 300万円
- ・学校給食事業 …… 247万円
野菜の価格が高騰しており、給食材料
購入費に不足が見込まれるため



人 事 案 件

監査委員に高田充廣さん

監査委員の川野徹さんから、平成25年3月31日付けをもって辞任したいとの辞表が提出されました。町長から、後任として高田充廣さん（下之宮・67歳）を任命することに同意を求められ、議会は賛成全員で同意しました。（任期4年）

人権擁護委員に川井恵美子さん

人権擁護委員に、川井恵美子さん（福島・46歳）が推薦され、議会は賛成全員で適任と同意しました。現在5名で活動していますが、人権教育の充実を図るため、1名増員することになったものです。（任期3年）

請願

年金2.5%削減の中止を求める
意見書の請願

請願者 全日本年金者組合 群馬県本部 執行委員長 女屋定俊

玉村支部 支部長 中埜輝明

紹介議員 宇津木治宣

趣旨 現在の深刻な不況の中で年金の削減を強行すれば、消費税の増税とも重なって、国民の生活は圧迫される。また、年金

収入の削減は地域経済にも大きな影響を及ぼす。

このような事態を踏まえ、内閣総理大臣に対し、「年金2.5%削減の中止を求める意見書」の提出を玉村町議会に求めるもの。

総務常任委員会に付託して審査

意見 年金制度を維持するためには、物価の変動による年金額の改定、2.5%の年金削減は避けられないのではないか。

委員会 不採択3・採択1

本会議 賛成多数（賛成12・反対3）で不採択

陳情

現存する原子力発電の停止・廃炉を
求める陳情

陳情者 玉村と共に生きる会代表 中里知恵子

趣旨 原子力発電は不完全な技術であり、現段階では放射

能の制御は不可能であること、さらに日本は地震列島であることを深慮し、新たな建設だけでなく、現存する原子力発電の停止・廃炉について、国への積極的な働きを行うよう、玉村町議会に求めるもの。

経済建設常任委員会に付託して審査

意見 陳情の趣旨は理解できるが、玉村町議会に対し、どのような対応を具体的に求めているのか不明確である。また、長期的な視点で停止・廃炉としていくのならば理解できるものの、即時の対応は経済などの影響を考えたときに難しい。

委員会 趣旨採択3・不採択1

本会議 賛成全員で趣旨採択